

< 第 12 期 >

中間報告書

2018年4月1日～2018年9月30日



赤石岳西稜越しに見る厳冬期南アルプス北部

特種東海製紙株式会社

TOKUSHU TOKAI PAPER CO.,LTD.

証券コード 3708





代表取締役社長
松田 裕司

2年目を迎え、当社グループのコア・コンピタンスである「技術と信頼」を基に、既存事業における成長機会を創出するため「新市場開拓・海外販売の強化」、「新製品開発」、「新事業進出」を推進し事業領域の拡大を目指しております。

第12期上半期は、中国での古紙需要の増加に伴う古紙価格の高騰が一時的に緩やかとなり安定基調を見せましたが、その後、中国政府の環境規制の強化と米中貿易摩擦の影響もあり、再び価格の高騰が続いております。また、パルプや原燃料等も軒並み値上がりするなど、各事業ともに原材料・原燃料により大きな影響を受け、引き続き

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第12期中間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の報告書をお届け申し上げます。

当社グループは2017年5月に公表した3カ年の第四次中期経営計画「NEXT10～次なる成長 次なる挑戦～」の

厳しい環境となりました。

そのような中、当社グループの各事業におきましては、産業素材事業では段ボール原紙やクラフト紙分野において日本製紙(株)との事業提携による取組みや需要の高まりによる生産・販売の維持やパルプの海外輸出が好調に推移しました。特殊素材事業では特殊印刷用紙の販売数量が増加し、特に中国向けのファンシーペーパーの販売は徹底した市場ニーズの把握や拡販施策の効果により好調なスタートを切ることができました。生活商品事業では、顧客のニーズに沿った商品開発などを行い、販売が堅調に推移しました。

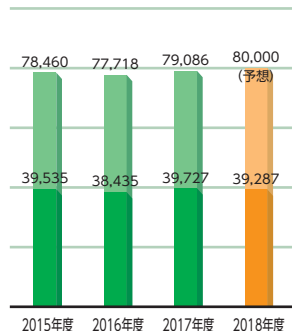
以上により、当第2四半期の決算は経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益において大幅な増益を確保し、売上高39,287百万円、営業利益1,786百万円、経常利益2,719百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,993百万円を計上しました。

引き続き、グループ一丸となって第四次中期経営計画の達成を目指し、基盤事業の強化・変革を図るとともに成長機会の探策に経営資源を投入し、さらなる飛躍を図り、長期目標の計画値達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

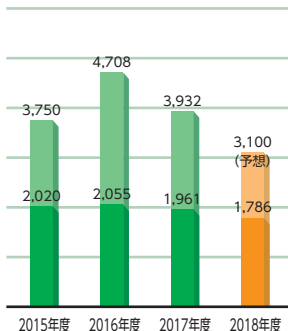
売上高

(単位：百万円)



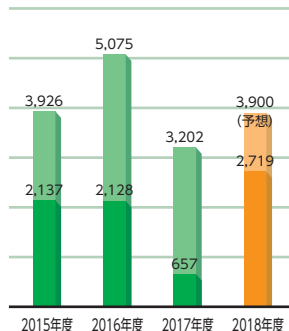
営業利益

(単位：百万円)



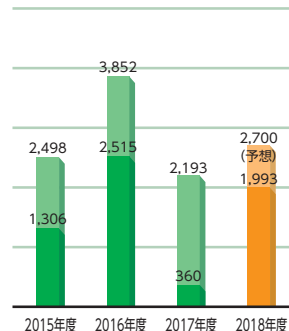
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



成長戦略

特殊素材事業

新市場開拓・海外販売の強化

研究開発テーマ「NaSFA」の内、A（アート）の取組みとして、2018年4月より販売を開始した中国市場向けの新ブランド「和紙楽活 KAMI Lab.」の拡販と認知の拡大を目指し、中国において展示会開催・出展しました。2018年8月には中国の出版に携わる国内外の事業者が集まるアジア最大の国際書籍イベント「北京国際図書博覧会-Beijing International Book Fair-」へ出展しました。さらに紙の可能性を探ることをテーマとして北京市で「紙わび大賞作品展」を開催しました。グループ会社の㈱TTTレーディングでは、文化財等の保護が可能な保護紙の海外展開として、中国での博物館や美術館への展開を目指し福州市で開催した「IMPT-EXPO」に出展しました。

引き続き、中国をはじめとして台湾やベトナム等、その他の地域における市場の可能性を模索し継続的な新商品の開発に繋げ、さらなる商品の拡販を目指しております。



北京国際図書博覧会

S（セキュリティ）の取組みとして、偽造防止用紙の技術開発を進め、例えば海外でのパスポートや高級品に使用されるラベルなどへの用途展開を目指しております。引き続き偽造防止技術のさらなる向上に努め、オリジナル性のある商品開発を進めております。

Na（ナノテクノロジー）の取組みとして、ガラス合紙の開発で培ったμmレベルの微小異物除去技術や工業用機能紙の開発で培った高機能なシート化技術を用いた工業用機能性シートの新規開発および応用展開を進めております。

※NaSFA
Na（ナノテクノロジー）、S（セキュリティ）、F（フュージョン）、A（アート）

基盤事業強化・変革

産業素材事業

2015年より進めている日本製紙(株)との事業提携に伴うシナジーの追求を図るなど、新東海製紙(株)島田工場のさらなる競争力向上を目指しております。提携シナジーの一環として生産体制再編成等による生産量増加や採算性・生産効率の改善を進めております。また、原料の共同調達などにより安定生産と物流効率化を進めております。その他、新バイオマスボイラーの安定稼働に努め継続したコスト低減効果を生み出しております。

特殊素材事業

ガラス合紙において、アジアやインドを中心とした液晶パネルの需要増加に伴い、ガラス合紙へのさらなる高まりを見せる要求水準を超える品質向上を図り、世界シェア拡大を目指しております。

三島工場では、2019年1月より本格稼働を予定し投資総額11億円の新規ガスエンジン建設を進めております。稼働後には年間約7,000トンのCO₂削減および購入電力量の減少等によるコスト削減を目指しております。

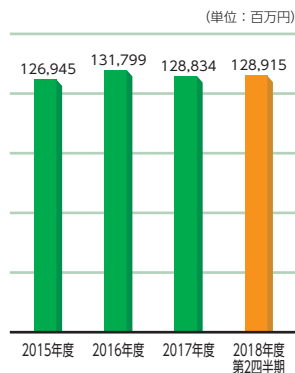
生活商品事業

グループ会社の㈱トライフにおいて、ペーパータオルやラミネート商品の従来から持つ安全性、衛生面、機能性に環境対応可能な商品開発を進め、ユーザーニーズに合わせたバリエーションの拡大を目指しております。プラスチック容器から紙への代替を目指しラミネート技術を付加することで包材の食品に対する安全性を高めた商品や森林認証紙対象商品など環境対応商品の開発に注力しております。

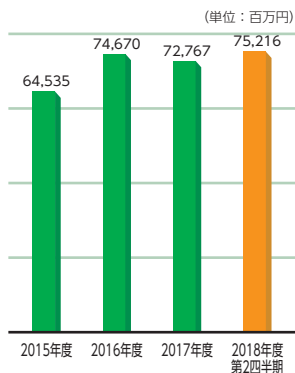
2019年度連結数値目標

売上高	850億円	営業利益率	6.5%
営業利益	55億円	ROE	5.0~6.0%

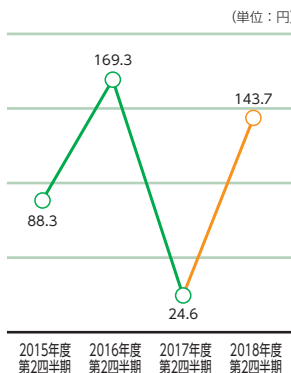
総資産



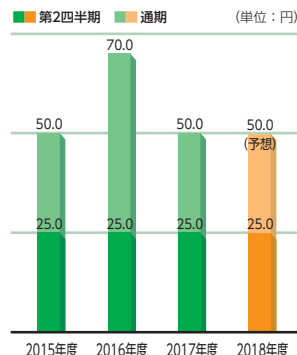
純資産



1株当たり四半期純利益



配当金の推移



(注) 1株当たり四半期純利益・配当金は、2016年10月1日実施の株式併合の影響を考慮したものです。

セグメント別構成比率

生活商品事業

22.4%
前年同期比▲0.1%

特殊素材事業

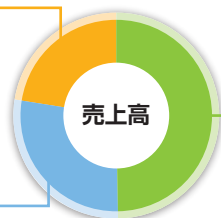
27.8%
前年同期比▲75.4%

生活商品事業

6.3%
前年同期比▲69.6%

特殊素材事業

48.0%
前年同期比▲12.8%



産業素材事業

49.8%
前年同期比▲4.4%



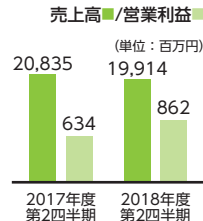
産業素材事業

45.7%
前年同期比▲36.1%

セグメントの概要

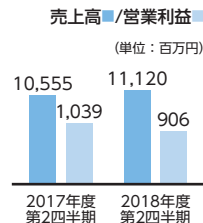
産業素材事業

- 主力製品である段ボール原紙およびクラフト紙において原価の低減等が寄与し、営業利益は前年同期を上回る。



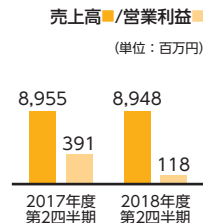
特殊素材事業

- 特殊印刷用紙は、海外市場において新たな販路と顧客を獲得し、販売数量・金額ともに前年同期を上回る。
- 特殊機能紙は、高付加価値製品の需要を一部取り込み、販売数量・金額ともに堅調に推移。

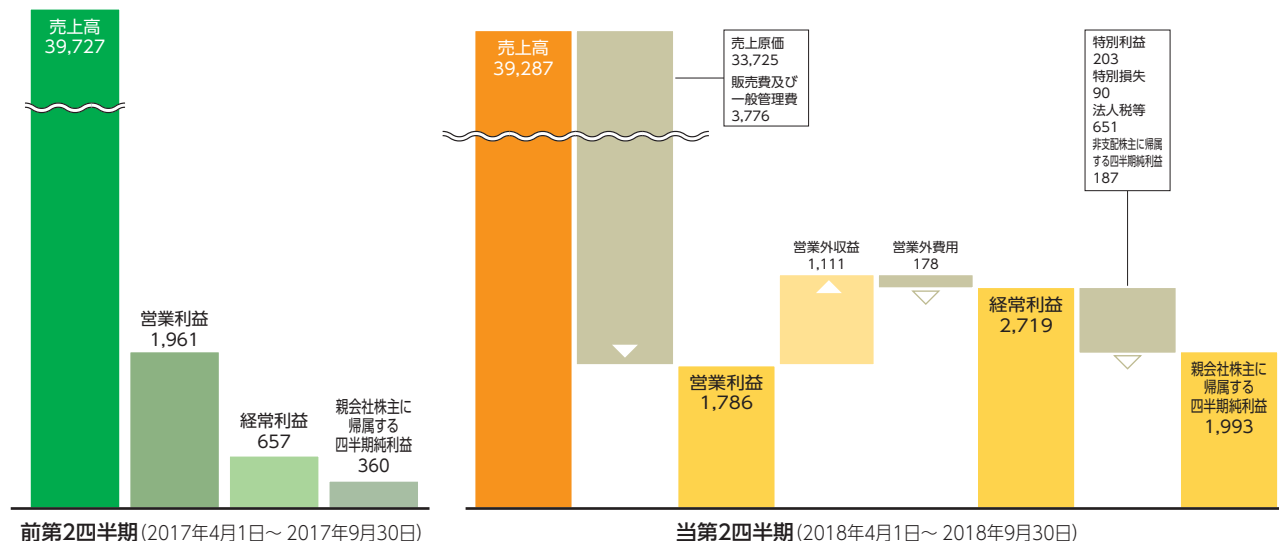


生活商品事業

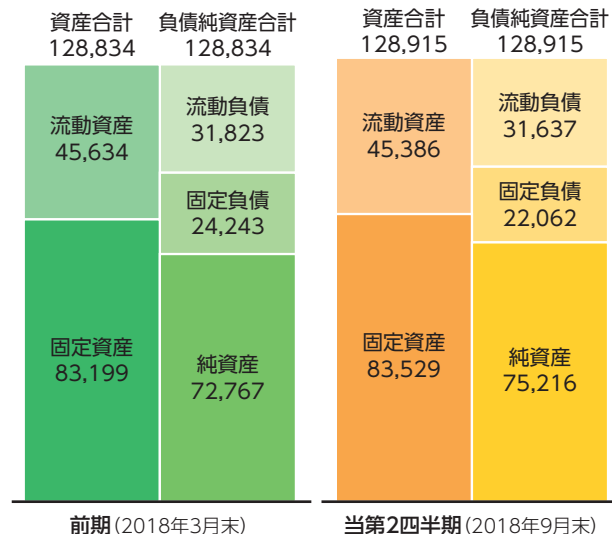
- ペーパータオルは、顧客のニーズに沿った製品を提供することにより、販売数量が前年同期を上回る。
- トイレットペーパーは、販売数量・価格ともに安定的に推移。



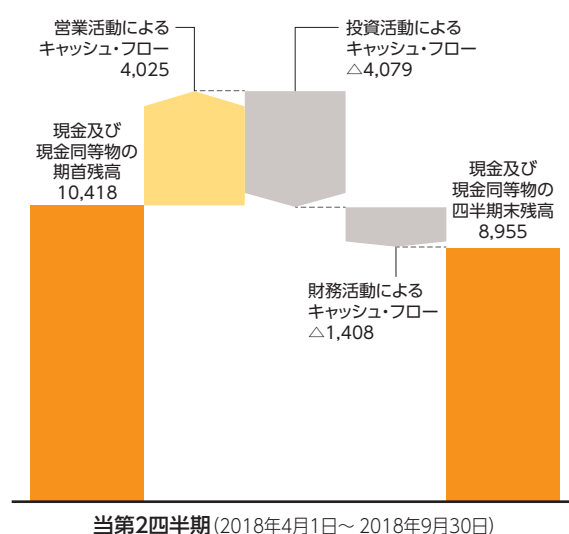
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前期(2018年3月末)の数値につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

●地域社会との交流活動

当社グループでは、各工場において地域社会の皆様との交流を図る場としてお祭りを開催しております。新東海製紙(株)島田工場においては5月19日に「第19回ふれあいまつりin島田」、また、当社三島工場においては8月25日に「納涼祭」を開催しました。いずれも近隣住民や従業員家族等をはじめ多くの方々



ふれあいまつりin島田



三島工場「納涼祭」

にご来場いただきました。会場では焼きそばやフランクフルト等の調理ブースの他、和太鼓のパフォーマンスやO×クイズ・借り物競争など催しも行い会場を盛り上げました。今後も地域社会の皆様との交流をさらに深めてまいります。

●「平成30年7月豪雨」による災害支援

2018年8月9日当社グループとして、西日本を中心として発生した豪雨により被災された皆様の支援や被災地の復興にお役立ていただくため義援金として



義援金寄託

200万円を静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団に寄託し、日本赤十字社静岡支部を通じて寄付いたしました。被災された皆様のご健康と一日も早い被災地の復興を心からお祈り申し上げます。

●「TOKYO PACK2018」への出展

2018年10月2日より4日間、東京ビッグサイトで開催されたアジア最大級の包装総合展「TOKYO PACK2018」に当社の他、当社グループの(株)トライフ、(株)TTトレーディングが出展しました。パッケージユーザーやデザイナーの方々へのPRとして(株)トライフより「ミラックス」の美粧系外装用途・食品用途の新商品を、当社より「TSギフト」、(株)TTトレーディングより金銀の輝きにより高級感を持たせた新商品「ハイピカE2+」など高級パッケージ用途の商品を展示しました。



会場の様子

●トイレットペーパー「エコロジー」リニューアル
特種東海エコロジー(株)より販売している「エコロジー」をリニューアルし2018年11月より発売を開始しました。

リニューアル内容

- 孟宗竹由来の天然消臭タイプ
- クレープ加工によりふんわりとソフト感を実感
- 水解性に優れ、水圧の低いトイレでも安心して利用可能
- 紙力バランスを調整し、縦切れ・ちぎれが起きづらい仕様
- 上品な和柄のパッケージを採用



第12期中間配当金について

第12期中間配当金は、基本方針である安定配当により1株当たり25円をお支払いすることを決議し、2018年12月6日より配当金のお支払いを開始させていただきます。

決議	2018年11月13日取締役会
株式の種類	普通株式
配当金の総額	346,974,850円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	25円
基準日	2018年9月30日
効力発生日	2018年12月6日

役員 (2018年9月30日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	松田 裕司
取締役	専務執行役員	大島 一宏
取締役	常務執行役員	関根 常夫
取締役	常務執行役員	柳川 勝彦
取締役	執行役員	渡邊 克宏
取締役	執行役員	毛利 豊寿
取締役	執行役員	大沼 裕之
取締役	執行役員	佐野 倫明
取締役	(社外)	木村 実
取締役	(社外)	金澤 恭子
常任監査役	(常勤)	三谷 充弘
監査役	(社外)	大倉 喜彦
監査役	(社外)	上田 廣美

会社概要 (2018年9月30日現在)

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙類・パルプ類等の製造・加工・販売 および子会社の経営管理等
資本金	11,485,200,000円
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (コード：3708)
設立年月日	2007年4月2日
本店	静岡県島田市向島町4379番地
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
事業所	三島工場、岐阜工場

グループ企業 (2018年9月30日現在)

会社名	主な事業
新東海製紙株式会社	紙/パルプの製造・販売
特種東海マテリアルズ株式会社	製紙原料の仕入・販売等
株式会社特種東海フォレスト	土木・建築・造園・山林・観光事業他
株式会社レックス	サーマルリサイクル燃料の製造・販売
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業
株式会社TTトレーディング	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙・加工品等の販売
特種メーテル株式会社	特殊紙製造、医療用機能性シート、緩衝・保護包装紙の製造・販売
株式会社トライフ	ペーパータオル・ラミネート製品の製造・販売
特種東海エコロジー株式会社	家庭紙(トイレットペーパー)の製造・販売
新東海ロジスティクス株式会社	構内作業業務・運送業

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

（上記は、特別口座に記録された株式に関する各種手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。）

公告方法 当社ホームページ上に掲載します。

<https://www.tt-paper.co.jp/>

ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主優待品のご案内

当社特製カレンダーの送付について

このたび、2018年9月30日現在の株主名簿で100株（1単元）以上を保有する株主様へ、日頃ご厚情への感謝のしるしとして、『特製カレンダー』をお送りさせていただきます。

このカレンダーには、山岳写真家として世界的に有名な白籜史朗氏が、南アルプスに広がる当社社有林を撮影した写真と当社製の高級印刷用紙、ファンシーペーパーをふんだんに使用しております。1年間を通じてご愛用いただければ幸いです。



単元未満株式買取りおよび買増し制度のご案内

単元未満株式（1～99株）につきましては、証券取引所での売買を行うことができませんが、当社では単元未満株式（1～99株）の買取りおよび買増し制度を実施しており、単元未満株式をご売却またはご購入することができます。

単元未満株式買取り制度

株主様がご所有する単元未満株式を株主様のご請求により、当社が買い取らせていただく制度です。

単元未満株式買増し制度

株主様がご所有する単元未満株式と合わせて1単元（100株）となるよう不足分の単元未満株式の買増しを当社にご請求いただく制度です。

お手続きについて

買取り請求（ご売却）、買増し請求（ご購入）に関するご相談、お問い合わせは、お取引の証券会社または左記の当社株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部）までお申し出ください。



表紙写真：白籜史朗氏撮影
用紙：エアラス
スーパーホワイト